

2022/06/06 (月)

朝の礼拝

聖書 使徒言行録 2章1-4節 (新約聖書214頁)

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

### 聖霊の働き

旧約聖書ではアブラハム、モーセ、ダビデ、そしてイザヤやエレミヤなどの預言者が選ばれ、祝福を受け、神様の赦しと平和を伝えました。それを聖書では目に見えない神様の導き、聖霊の働きと言います。

新約聖書ではイエスが旅の途中、たびたび人里離れた所でひとり祈り、神様のみ心を求めました。そして病を負う人、体の不自由な人、友のない人に近寄り、あなたは神様に愛されていると、神様の赦しと平和を宣言しました。

そして、この世に残された弟子（使徒）たちもまた共に集まって祈り、神様のみ心を求め、目に見えない聖霊の力を受けて地中海各地に遣わされ「イエスは救い主キリストです」と福音を伝え、世界に神様の赦しと平和を伝えました。

祈りは神様の声を聴いて、神様のみ心を求めることです。聖霊は神様からの「大丈夫！」という激励です。そうして私たちは神様への信頼を深めていきます。そして神様は私たちを平和の道具として用いて下さるのです。

(しばらく黙祷しましょう)

主よ、  
わたしをあなたの平和の道具にしてください。  
憎しみのあるところに 愛を、  
いさかいのあるところに ゆるしを、  
分裂のあるところに 一致を、  
疑いのあるところに 信仰を、  
誤っているところに 真理を、  
絶望のあるところに 希望を、  
闇に光を、  
悲しみのあるところに 喜びを  
もたらすものとしてください。

慰められるよりは 慰めることを  
理解されるよりは 理解することを、  
愛されるよりは 愛することを、  
わたしが、求めますように。

わたしたちは与えるから受け、  
ゆるすから ゆるされ、  
自分を捨てて死に、  
永遠の命をいただくのですから。

アシジのフランシス「平和を求める祈り」